

五角凧の作り方

正五角形に合う桜や梅など五辨の花も多くあり、好きな花の絵を描いた凧を揚げて

「花は咲く♪」でも歌って下さい。

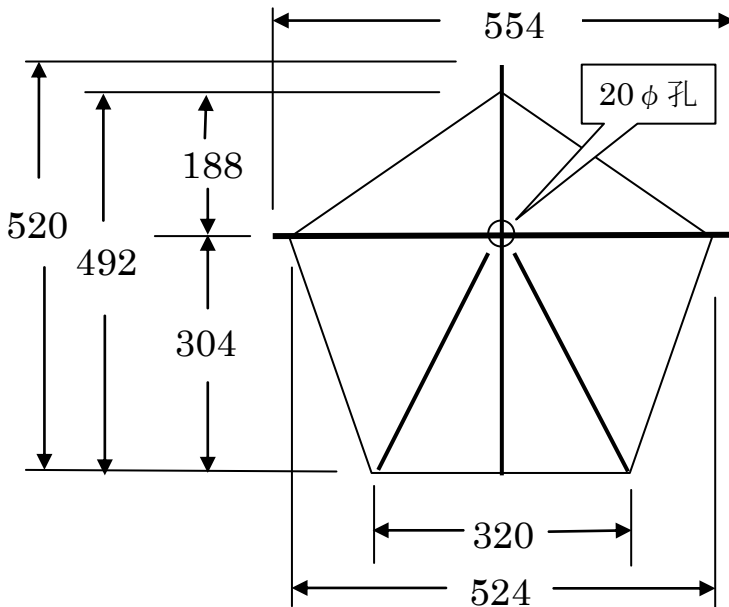
また、五角凧は語呂合わせで合格凧と呼ばれ、受験生の合格祈願の凧として作成される事があります。

皆さんも何か五角形に適した凧絵を考えてみて、自作の凧を揚げて楽しんで下さい。



五角凧

■凧の形と寸法：



■使用材料

骨材：

縦 骨： 平割竹 5x2x520 1本

横 骨： 竹ひご 3φx554 1本

斜め骨： 竹ひご 1.8φx330 2本

面材：和紙(または白ポリエチレン)

凧面：600x600 1枚

尾：幅30x長さ1,000 2枚

接着テープ作成用：幅40x長さ640 1枚

糸：

反り糸と糸目糸： 木綿糸4号 1メートル

揚げ糸 1巻



■製作の手順

① 型紙を作る

凧を寸法に合わせて正確に作るためには、あらかじめ厚めの紙で型紙を作っておくことを推奨します。型紙に正確に図を描き、それに合わせて凧を製作することが左右のバランスのとれたよく揚る安定した凧を製作するための第一歩です。中央上部の孔も忘れずにあけてください。

② 凧面を切り取る

型紙に合わせて、面材を切り取ります。（孔も忘れずに）

③ 凧面に絵や字を大きく描く。

丸い孔が中央の上側になるようにする。

④ 接着テープを作製する

接着テープ作製の面材に両面テープを貼ってから、16等分して16枚の正方形の接着テープを切り出し、内、3枚は半分に切って、長方形6枚にする。（正方形1枚分は予備）

⑤ 縦骨を凧面に貼り付ける

凧面を裏返して型紙に合わせて置き、縦骨を皮側が見えるように下端に合わせて余りが上に出るように置き、両端と中間の2か所の計4ヶ所をテープで貼る。

⑥ 横骨を凧面に貼り付ける

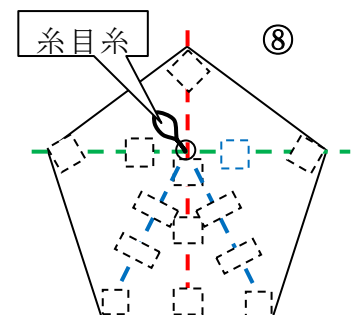
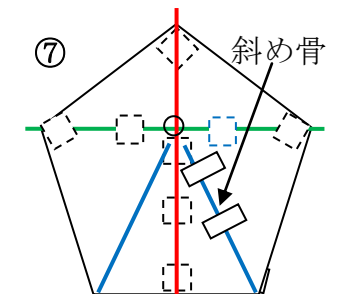
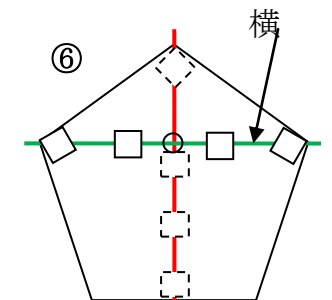
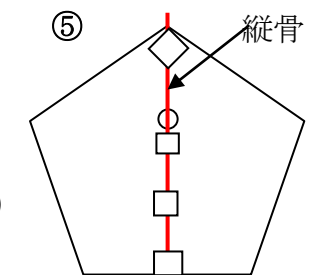
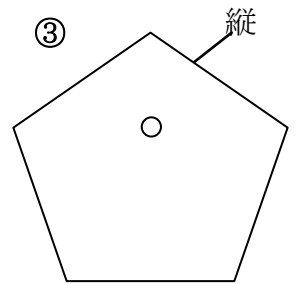
横骨は両側に同じ長さが出て皮側が見えるように置き、両端と中間の2か所の計4ヶ所をテープで貼る。

⑦ 斜め骨を凧面に貼り付ける

斜め骨を置き、斜め骨を押さえるテープを下端と途中の2ヶ所に貼る（2本とも）。

⑧ 縦骨と横骨の交点を糸目糸で結ぶ

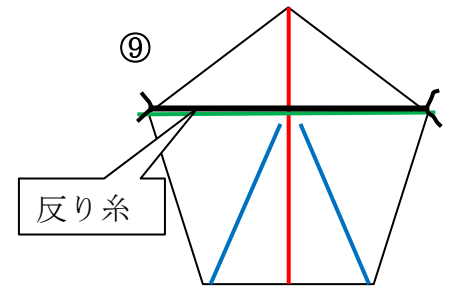
長さ250ミリの木綿糸の中間を結んで糸目糸を作り、それを縦骨と横骨の交点に輪が表側になるように凧面の表側から交点の孔に糸を通し、十字にしぼる。



⑨ 反り糸を取り付ける

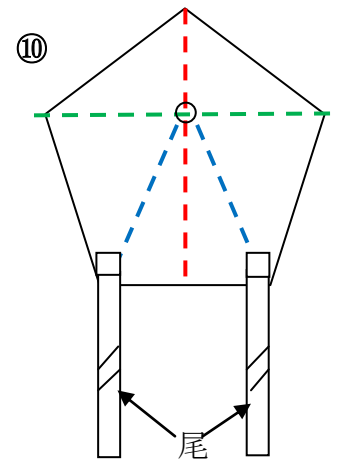
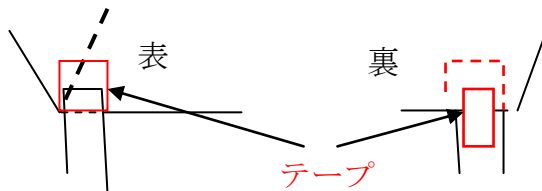
たるみの出ないように反り糸を凧面の裏側で横骨の両側に固くしばる。

反り糸は凧を揚げる時には横骨のいずれかの端に3回程度巻き付けて横骨に反りを与える。凧を降ろした時には巻き付けていた反り糸を元に戻して平らにして置く。



⑩ 尾を貼り付ける

凧面の下部の両端に2本の尾をテープで貼り付ける。風で尾が外れないように表裏両側からテープで貼る（表は正方形1枚、裏は半分を縦に）。



下の写真は五角凧の裏面図です。

